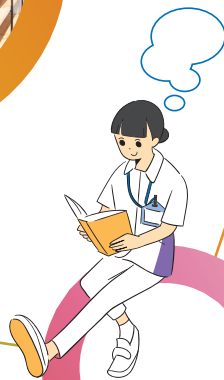
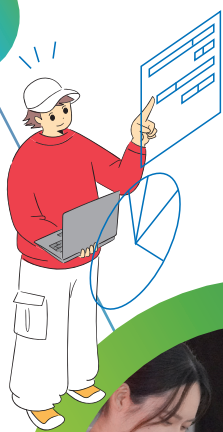




／＼ 実りある未来につながる全学共通の学び ／＼

京都橘大学 共通教育 2025



学びを楽しみ、わたしを広げる。

共通教育って、なぜ大切？どんな学びが得られるの？

社会、就業構造が大きく転換し、予測不可能な時代。

そんな時代に必要なのは、複雑な社会を捉え、他者と関わり、自分の世界を広げる力です。

自らの人生を切り拓くために〈自立〉・〈共生〉・〈臨床の知〉に対応した力を身につけます。

共通教育の学びはきっとあなたの知的好奇心をおおいに刺激してくれるはず。

さあ、扉を開いて、学びの世界に踏み出しましょう！



教学理念に基づいた たちばなで育む 3つの力



自立

**物事を多角的に捉え
自ら考え主体的に行動する力**

物事を多角的な視点から客観的に理解するとともに、論理的・批判的に思考したうえで、自分自身で判断して主体的に行動することのできる能力を身につける。



共生

**多様性の中で
互いに理解し合い協働する力**

ひろく世界に目を向け、他者の価値観や世界のあり方を尊重しつつ、相互に理解しながら協力して物事に取り組む能力を身につける。



臨床の知

**理論と実践の往還を通じて
新たな知を発見する力**

理論と実践を往還する中で知識を実践的に理解するとともに、課題の解決に取り組む中から新たな知を発見する能力を身につける。

01

たちばなSeeds

(京都橘基盤科目群)

教学理念である〈自立〉・〈共生〉・〈臨床の知〉を身につける基盤を学びます。

主な開講科目
●たちばな Basis I・II
●シンキングスキル
●プレゼンテーションスキル
●ライティング基礎
●ITリテラシー
など

詳細は P.04 へ

02

教養教育科目群

社会を多角的・客観的に捉え、人生の指針となる知性や価値観を身につけます。

主な開講科目
●言語コミュニケーション論
●情報技術の歴史と展開
●日本の伝統的建築と庭園
●歴史学概論
●AI概論
●国際関係入門
●人間を考える
など

詳細は P.06 へ

03

多文化交流科目群

言語と多文化交流を、相互理解とコミュニケーションを通して実践的に学びます。

主な開講科目
●英語 I AB～英語 IV AB
●フランス語入門 I・II
●韓国語会話 I・II
●異文化交流演習 I・II
●外国語臨地演習 I・II
など

詳細は P.07 へ

04

キャリア形成科目群

未来構想力と越境力を向上させ、未来を創造する自律型キャリアを目指します。

主な開講科目
●キャリア開発演習
●新時代のキャリア開発
●就業体験実習 I・II
●クロスオーバー型課題解決プロジェクト
●海外就業体験実習 I・II
など

詳細は P.08 へ

05

スポーツ・健康科目群

スポーツや体のメカニズムの理解を通じて心身の健康を学びます。

主な開講科目
●健康に生きる
●スポーツコース I・II
●健康と運動の科学
●ストレス科学概説

詳細は P.10 へ



京都橘大学 共通教育推進室長
総合心理学部 総合心理学科
坂本 敏郎先生

学部・学科の壁を越えた学びで
総合知を育み、未来を切り拓こう

入学おめでとう。大学での学びを前にして、みなさんは期待と不安を抱えていることでしょう。大学は、自身の好きなことを好きなだけ学べる自由な場所です。本学では、学部・学科の専門教育に加えて、それらの垣根を越えた全学共通の教育科目を学ぶことができます。今年度から新しくなった共通教育には、教育理念に基づいて、さまざまな学問に触れながら教養や実践力を養成していく多数の科目が用意されています。自身の将来を想像しながら、面白そうなもの、役立ちそうなるものを自由に修得してください。まずは、大学での学びの“楽しみ方・味わい方”を見つけることから始めましょう！

たちばなSeeds (京都橘基盤科目群)



広がっていく学びに必要な基礎力を身につける科目群。
 たちばなBasisを核に、京都橘大学で学ぶ意義を理解し、考え方・
 表現方法・ITスキルなどを身につける科目が配置されています。

PICK UP CLASS

ITリテラシー

Officeソフトの活用技能だけでなく、情報社会におけるリスクを防ぐための知識、情報を扱う上でのマナーを身につけます。

プレゼンテーションスキル

わかりやすく説得力のあるプレゼンテーションができるよう、論理構成、資料作成、口頭伝達の仕方を、学生同士がフィードバックし合い、学びます。

ライティング基礎

演習を通して文章を読む力を養成し、添削指導等により、論理的な論説文を書くために必要な文章構成力や推敲する力を伸ばします。

シンキングスキル

主題に関する肯定・否定のチームに分かれての討論(ディベート)を通じて、考えたことを他者に伝え、他者と共に吟味する力を伸ばします。



CROSS TALK

たちばなBasis I・II

全学必修科目^{*}として新たに設置された「たちばなBasis I・II」。その名のとおり、本学で学ぶ“ベース”を身につけてもらうための科目です。人文・社会・自然・医療といった多様な学問を通じて、本学の教学理念である〈自立〉・〈共生〉・〈臨床の知〉を学び、実践します。この科目に関わる先生方に「たちばなBasis I・II」の授業の魅力や学び方、学生に期待することを語り合ってもらいました。

^{*} 総合心理学部は2027年度より開始予定

STUDENT QUESTION 01

「たちばなBasis I・II」って何ですか？

京都橘大学の教学理念である〈自立〉・〈共生〉・〈臨床の知〉を軸に、多様な学問に触れる科目です。具体的には遠隔授業で講義動画を事前に視聴し、知識を身につけた上で、対面授業でディスカッションやプレゼンテーションを行います。

STUDENT QUESTION 02

教学理念って
 難しそう…
 なぜ大事なのですか？

大学での学びや活動を通じて身につけてほしい能力や態度を教学理念で表しています。主体的に考え、行動できる「自立」、多様な価値観や背景を持つ人と相互理解し、協力できる「共生」、生きた知識を社会で実践できる「臨床の知」の3つの力を獲得してもらうことが本学の願いです。

STUDENT QUESTION 03

専門的な事だけを
 学べばいいのでは
 ないですか？

絶えず変化を続ける時代の中で、自らの興味の方向性がずっと同じであるとは限りません。本科目を通じて多様な学問に触れることで、興味の幅を広げ、視野を広げることができます。それはつまり、人生の選択肢を増やすきっかけになります。

STUDENT QUESTION 05

何を意識して
 受講すれば
 よいのですか？

全学部・全学科の学生の混合クラスで、積極的に友達づくりをしてください。多種多様な学生と一緒に授業を受けられるとても貴重な機会です。講義の内容は少し難しいかもしれませんが、まずは「友達ができたらいいな」くらいの気持ちで授業を楽しんでください。

STUDENT QUESTION 06

受講したら
 どんな成果や成長を
 得られますか？

各分野の専門家の先生方の講義ですから、とても密度の濃い内容になっています。しかし、それを乗り越えた先に、驚くほど大きな自信や達成感があります。また、コミュニケーションスキルを養うことで、専門科目での学びもより深めることができます。

1回生で
 履修する価値は
 何ですか？

STUDENT QUESTION 04

高校生と大学生では、勉強方法や1日の過ごし方ががらりと変わります。大学は学年があがるにつれ、専門的な学びの比重が高まります。1回生時に多様な学問や他者の意見に触れることで、視野を広げて学部・学科を越えたつながりを作ってほしいと願っています。また、本科目を通して学習習慣を養うことで、これから先の4年間の充実した学生生活につながります。

先生たちのインタビューは
 こちらから



YouTubeが開きます



経営学部 経営学科
 西野 毅朗先生

専門分野：教育学、高等教育論、高等教育開発



工学部 情報工学科
 片岡 裕介先生

専門分野：空間情報科学、都市解析



健康科学部 臨床検査学科
 所司 睦文先生

専門分野：臨床神経生理学、生体検査学、解剖生理学、医用工学、医療情報学



経営学部 経営学科
 平尾 毅先生

専門分野：イノベーション論、人的資源管理論、経営史



文学部 歴史学科
 後藤 敦史先生

専門分野：日本近代史(幕末維新史)

教養教育科目群

Q. なぜ教養科目を学ぶのですか？

A. ひとと言え、視野を広げるためということになるでしょう。たとえば、科学技術の発展は、科学者の知的好奇心によって方向付けられる面もちろんありますが、社会からのニーズによって方向付けられることも少なくありません。それを理解するためには、人のこころや社会の動きを正しく理解するため人文・社会系の知識や考え方を知っておく必要があります。

Q. 先生が学生時代に学んだ教養科目で印象に残っているものを教えてください。

A. さまざまな生物が空間の中でどのように姿勢を保持するかをテーマにした生物学の授業が印象に残っています。何かに直接役立ったわけではないのですが、高校の生物では決して使わなかった物理の知識が必要な内容で、さまざまな知識をフル活用して未知のことを明らかにしていくことの面白さを学ぶことができました。

Q. 京都橘大学の教養教育科目群の特徴はなんですか？

A. ある学問分野の概要を学ぶ概論型科目だけでなく、たとえば「食と農から社会を考える」など、特定のテーマについて学ぶテーマ型科目、受講生同士でのディスカッションを通じて学ぶゼミ型科目が設定されているのが特徴です。教養教育科目においても専門教育科目に負けない深い学びを得ることができます。



経済学部 経済学科
阪本 崇先生
専門分野：財政学、文化経済学、
公共政策、教育経済学

教養を身につけること、それは人生を豊かにし、生きる指針を得ること。

海外との距離が縮まる時代。必要なのは文化の理解とコミュニケーション。



文学部 日本語日本文学科 4 回生
三宅 美風 さん(右)
交換留学生(実践大学・台湾)
チン ジャオウエン
陳 筱雯 さん(左)



YouTube が開きます

多文化交流科目群

STUDENT VOICES

Q. 異文化交流演習を履修したきっかけを教えてください。

A. 三宅さん／座学だけでなくフィールドワークもあると聞き、寺社仏閣などを巡って留学生と交流を深めるよい機会だと思いました。
A. 陳さん／母語で読んだことのある日本の文学作品を、日本人と一緒に読解できる面白い授業だと思いました。

Q. 海外の人たちと交流する楽しさや難しさはありますか？

A. 三宅さん／文学作品の読解を通じて価値観の違いに気づいたり、言葉の壁を乗り越えようと創意工夫を重ねたりする楽しさがありました。
A. 陳さん／台湾の食べ物を説明する時に、日本にはない食材や味を表現することは難しいですが、日本人の学生が私の説明を理解してくれ、日本にも似た食べ物があることが分かりました。そんな交流がとても楽しいです。

Q. 多文化交流で得た経験は将来、どのように役立つと思いますか？

A. 三宅さん／社会に出て多様な背景を持つ人たちと交わる中で、この授業で得た視野の広さやコミュニケーション能力が役立つと思います。
A. 陳さん／国際社会の中で、仕事でも様々な国の人と関わらと思うので、この経験をコミュニケーションに生かしていきたいと思っています。

PICK UP CLASS

歴史学概論
【概論型】

人間を
理解する

世界史と日本史分野の教員が担当し、歴史的にみた日本列島あるいは世界の各地域の姿について理解を深めます。日本と異文化の接触・交流の視点や、文献史学以外の学問研究の視点に留意するとともに、史料を的確に読む重要性について授業を行います。

食と農から社会を考える
【テーマ型】

社会を
生きる

食と農から社会と経済を解き明かし、社会や経済を「自分ごと」と捉え、理解できることを目指します。気候危機や格差に関わる食と農の現状、食と地球環境、食と農の社会学や政治経済学、環境社会学などを背景とした授業を行います。

自然科学で考える
【ゼミ型】

自然科学
にふれる

社会の変化により既存の考え方や方法が通用しない状況では、多様な解を見出して試行錯誤を繰り返すことが求められます。自然科学の知識を活用するテーマについて、学部や学科の異なる学生が調査や討論、発表等を通して知の共創を行う少人数クラスの授業を行います。

阪本先生からの
メッセージ

学ぶ範囲が広がると、覚えることが多くなって大変だと思っている学生が多いのですが、それは勘違いです。知識は、ネットワークが繋がっていくことで、より簡単に身につけることができます。ぜひ、怖れずにいろいろな学びに挑戦してください。

PICK UP CLASS

異文化交流演習I

外国人留学生と共に日本文学や日本文化を学び、多様な文化背景を持つ学生の視点や考え方の違いについて理解を深め、共生力を養います。日本文学にまつわる寺社仏閣など、京都を代表する世界遺産でのフィールドワークも行い、キャンパス内外での実践的な学びを通じ、国際的な視野を広げます。



外国語臨地演習I

長期休暇中に欧米やアジアの協定大学で3週間集中的に語学と文化について学びます。ホームステイや大学寮で多様な人と共に生活することで、語学力と多文化理解を深めます。文化体験プログラムや各都市の見学などもあり、現地ならではの経験を積むことができます。



外国語科目

必修である英語科目は TOEIC や旅行、留学、アカデミックイングリッシュなど、実践的な英語力修得を目指した目的別クラスで学びを深めます。第二外国語として、韓国語、中国語、フランス語、ドイツ語を選択して入門レベルから学ぶことができ、語学力に加え外国文化の理解も深めることができます。



キャリア形成科目群

激動の社会を生き抜くために
「未来構想力」※1や「越境力」※2を高め、
新しい時代に挑む力を養う。

STUDENT VOICES

将来を見据えて人生に種をまく 計画的に行動できる新たな自分へ

1回生で履修した「キャリア開発演習Ⅰ」で、これまでの私は受験などの大きな節目で短期集中的に力を発揮する“節目重視型”とわかりました。臨機応変な対応は得意ですが、準備不足に陥りやすい傾向があります。そこで今後は「目標をきちんと立てて計画的に行動しよう」と、「就業体験実習Ⅰ」や「クロスオーバー型課題解決プロジェクト」、「キャリア開発演習Ⅳ」を履修して、じっくりとキャリアデザインを描くことに。「人生の種まきになるのでは」と考えて、大学祭の司会やボランティア活動などにも積極的に挑戦するようになりました。大学での学びや課外活動を通じて気づいた自身の強みを活かせる職業に就きたいと思います。



経営学部 経営学科 4回生
木幡 ひかりさん



YouTubeが開きます



クロスオーバー型課題解決プロジェクト

2 回生配当

科目概要 学部・学年を越えた学生が専門性を共有し、議論を通じて、企業や自治体から提示された課題の解決に取り組みます。

2025 年度連携先事業所一覧
(株) ADK クリエイティブ・ワン、アシックス商事(株)、小川珈琲(株)、京都信用金庫、京都生活協同組合、草津市役所、(株)デンソー、日本航空(株)、(株)リクルートゼクシィ編集部、(株)良品計画



YouTubeが開きます

ここをクロスオーバーした！

経営学部 経営学科 3回生

橋本 千聖さん

企業の方はもちろん、学部・学科も学年も違う学生たちから刺激を受けて、100分間の授業があったという間でした。

経済学部 経済学科 3回生

小森 瑠奈さん

学内にいながらにして、企業の方と密接に繋がる。実際の仕事の一部を経験したような実りのある授業でした。

経営学部 経営学科 3回生

大槻 凧さん

最初はガチガチに緊張していた僕が最後のプレゼンで評価を受けるなど、すごく成長できた自分を実感しました。

経営学部 経営学科 3回生

大槻 都桜子さん

将来就きたい職業も人生の目標も何も決めていなかったのに、この授業のおかげでキャリアの方向性が見えてきました。

連携先企業からのコメント

株式会社リクルート
プロダクトデザイン・
マーケティング統括室
情報誌編集ユニット
ゼクシィ編集部

部長 森 奈織子様

マーケティングにおけるカスタマー調査、企画検討、資料作成を行い、最終的にクライアントにプレゼンテーションというゴールまでを実践的に体験できるのがこのクラスの魅力です。マーケティングでは、どんなカスタマーがどんなニーズや課題を持っているかを調査ヒアリングすることが大事です。社会人になってもチームで動くことがほとんどなので、楽しみながら体験していただけたらうれしいです。



キャリア形成の第一歩！

就業体験準備実習

1 回生配当

複数の企業や自治体などへの訪問実習（フィールドワーク）を通じて、それぞれの職業や職場の役割を理解し、社会を見る目を養います。訪問実習では、見学だけでなくグループワークや実際に働いておられる方との交流などを行います。2回生以降の「就業体験実習Ⅰ・Ⅱ」の産学公連携科目につながるキャリア形成の第一歩となる科目です。



※1 **未来構想力**とは
不確実な社会の中で、
自分自身や周囲の環境
(社会・組織)の未来を
構想する力

※2 **越境力**とは
多様性の中で自分自身
や所属集団の境界を越
える力

就業体験実習Ⅰ

2 回生配当

科目概要 学内での事前・事後学修、事業所における就業体験（5日間以上、30時間以上）、報告会が組み合わさった授業です。

経済同友会クラス

誰もが名前を知っているトップ企業で
自分の力を試してみたい！

日本を代表する企業での就業体験を通して、今の自分がどの程度通用するのかを見極めること。さらには全国から集まった他大学の学生と生活を共にしながら切磋琢磨できる環境を体験したくて、日本航空株式会社を選びました。

見えてきたミライは…

オペレーションセンターや格納庫の見学、客室乗務員のドリンクサービスのほか、地域活性化をテーマにしたグループワークなどの体験を通して、「相手を笑顔にしたい」という気持ちが強くなりました。その思いを軸に、私に向いている、やりたいと思う仕事を模索したいです。



YouTubeが開きます



受入先
事業所様の
声

日本航空株式会社
客室業務部 前畑 美紀 様

経済学部 経済学科 3回生
速水 千愛さん



総合心理学部 総合心理学科 3回生
宮野 和典さん

宮川バネ工業株式会社
代表取締役 宮川 草平 様



YouTubeが開きます



見えてきたミライは…

大学の手厚いサポートを受けながら、就業体験ができたので、今後の就職活動への強い不安が消えました。これまでは漠然と「人を笑顔にする仕事」を考えてきましたが、この授業を通して「人の暮らしを支える仕事」に就きたいと思うようになりました。

一般クラス

不安だったらまず飛び込んでみる
行動の先にある未来を信じて

東近江市にある宮川バネ工業株式会社で就業体験を行いました。機械で板バネを研磨する作業を体験したり、他大学の学生と「同じ部品をみんながミスなく作るにはどうすればいいのか」をディスカッションしたりしました。

弊社の就業体験では、「働くことは、楽しいこと」をテーマに客室乗務職の魅力を体感していただいております。JALグループは、飛行機を飛ばすことで「移動を通じた人やモノ、地域との関係・つながり」を拡大し、ウェルビーイングな未来を目指しています。その中で、客室乗務員は乗務で培った知見や感性を活かして地域創生など幅広い分野で活躍できる機会も多い職種です。数日間のプログラムですが、ご参加された学生の皆さんの大きな成長は、企業側にとっても多くの気づきがあり、学びあいの機会と捉えています。就業体験にチャレンジすることで、是非、ご自身の新たな可能性を探してみてください。

弊社の就業体験では、皆さんの就職活動に対する不安を少しでも解消してもらいたいと思っています。会社は怖いところだとか、社会人になると自分の時間はなくなってしまうのではとか、色々な不安を解消してもらうために、作業体験や事務・営業体験、社員へのインタビューなど、社会人の生の声をたくさん聴くことができる機会を用意しています。就業体験を通じて、どんな職場が自分にとって働きやすい環境か、就職先を選ぶ時の判断材料にしてほしいと考えています。就活に不安を感じている人、何から始めたらいいかわからない人こそ、一歩踏み出して就業体験に参加してみしてほしいと思います。

スポーツ・健康科目群

PICK UP
CLASS

健康と運動の科学

現代社会は、科学の発展や近代化により、非常に便利な環境になった反面、運動不足や過度な栄養摂取による生活習慣病が増加し、新たな局面に遭遇しています。運動と健康のつながりを理解し、身体や心に及ぼす効果を科学的視点から考察する力を養います。また健康な生活を送るための運動の実践方法を学び、ライフスタイルに合わせた運動プログラムの提案や実行ができる基礎力を身につけます。

ストレス科学概説

心身の健康やストレスについて理解し、自分や周りの人の健康、疾病予防について主体的に考え、対処できるようになることを目指す科目です。現代社会において、自分や他者のストレスを理解し、適切に対処することは、健康な生活を送るうえで重要な役割をもちます。健康心理学の視点からストレスのメカニズムや、ライフスタイルとストレスの関係などを学び、日常生活で実践できるストレス対処法を身につけることを目指します。

先輩からの
共通教育 履修アドバイス

専門分野以外の科目を履修する
利点は何ですか？



文学部
日本語日文学科 4 回生
塩田 弥菜乃さん

所属学部分野でない科目を学ぶことで、多様な視点から、自分たちの身の回りにある現代社会の課題に目を向けることができます。社会問題を学ぶことは、自らを振り返るきっかけとなり、自分自身を学ぶことに繋がります。また一見遠い分野の学びでも、自分の専攻分野に繋げることができると、達成感が増すのがやがります。

成長した点はどこですか？



工学部
情報工学科 3 回生
樋口 雅裕さん

「ライティング基礎」では、論理的で正確な文章作成のスキル、レポートや学会論文の作成に必要な相手に伝える文章力が身につきました。「シンキングスキル」では、多角的な視点で物事を分析し、最適な解決策を導き出す思考力が身につきました。これらのスキルは、専門分野の学びや研究活動に大いに役立っています。

どういう目的で
履修する科目を選びましたか？



健康科学研究科
博士前期課程 2 回生
藤社 果林さん
健康科学部 臨床検査学科 卒業生

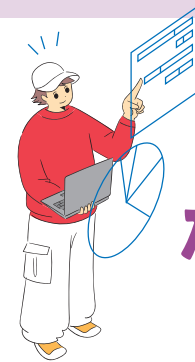
私は、臨床検査技師として将来に役に立つと考えられる科目を共通教育として履修しました。自分の専門領域についての概論や、健康や医学について幅広く学ぶ科目があり、医療組織の一員としての役割や意味について考えることができる貴重な経験になりました。

ウェブサイトが
開きます

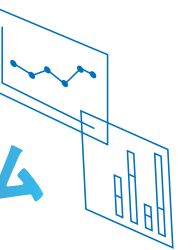


京都橘大学の履修の手引きはこちら

「履修の手引き」は、それぞれの学生が入学から卒業までの間にどのような学習計画を立てるかを決定するために必要な情報をすべて掲載しているものです。「履修の手引き」を熟読し、学習を計画的に進められるようにしてください。

全学生が学べる
たちばな AI・データサイエンスプログラム

社会や日常生活にあふれる様々なデータ。
これらのデータを効率的に収集し、分析・活用する方法を全学科で学びます。



Question

たちばな AI・
データサイエンス
プログラムの学びって
どんなものですか？

A

全学必修の「IT リテラシー」「データサイエンス基礎」*を単位修得することで、数理・データサイエンス・AI への関心を高め、それを適切に理解し活用する基礎的な能力(リテラシーレベル)を育成します。

※ 看護学部は、「データサイエンス基礎」は必修科目ではありません。看護学部の学生がたちばな AI・データサイエンスプログラムを修了するには、「データサイエンス基礎」の単位修得が必要となります。

Question

データサイエンスを
学ぶことは
どのようなことに
役立ちますか？

A

デジタルリテラシー (IT を使いこなせる能力) やデータサイエンスに関する知識や技能は、文系・理系に関わらずこれからの社会で活躍するために求められている力です。たちばな AI・データサイエンスプログラムを通して次の力を身につけます。

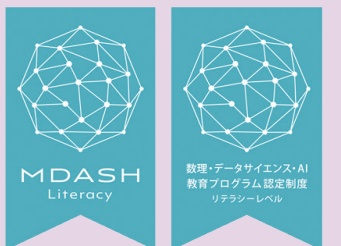
- ① AI・データサイエンスに関する基礎的な技能
- ② 統計やデータ分析に用いる各種アプリケーションソフトの活用能力
- ③ 統計やデータ分析を基に課題発見や解決案を導く力

Question

データサイエンスの
学びを対外的に
証明できますか？

A

たちばな AI・データサイエンスプログラムは、全学部の学生を対象としており、修了要件を満たした学生へ「たちばな AI・データサイエンスプログラム修了証書」を授与します。



(認定期限：令和 10 年 3 月 31 日まで)

データサイエンス応用

PICK UP
CLASS

科学技術の急速な進歩により、現代では、社会や日常生活に様々なデータ (インターネット上の書き込みや購入履歴、位置情報など) があふれています。これらのデータを効率的に収集し、分析する能力があらゆる業界で求められています。本講義では、データサイエンスの分野で最も利用されている Python を用いて、プログラミングの基礎とデータ分析の方法を学びます。

たちばな
AI・データサイエンス
プログラム



あらゆる側面から学びをサポート

学 習 支 援

SUPPORT 01

（ライティング支援）

レポートや授業発表資料、研究（卒業）論文などの執筆や修正を、教員やラーニングアシスタント（LA）がサポートします。

SUPPORT 02

（グループ学習支援）

グループ学習ルームやアクティブラーニングスタジオを貸し出しています。また、グループ活動を円滑に進めるためのコツなども解説しています。

SUPPORT 03

（ICT機器・ソフト活用支援）

授業や課題でのパソコンやWord、Excel等ソフトウェアの使い方を教員やラーニングアシスタント（LA）がサポートします。

SUPPORT 04

（動画撮影・編集支援）

シューティングスタジオに設置されたビデオカメラやグリーンバックを使って、動画の撮影や編集ができます。

SUPPORT 05

（学習用機器・文具の貸し出し）

パソコン、延長コード、文房具等、学習に必要な備品を貸し出しています。

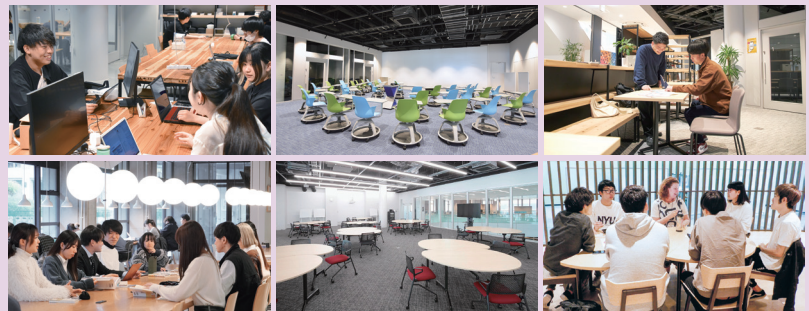
SUPPORT 06

（図書の貸し出し）

レポート作成などに役立つ語学・統計学・有能アプリの使い方などの図書をコモンズセントラルで貸し出しています。

ラーニングコモンズ

学内に9か所あるラーニングコモンズは、学生が自由な発想でアイデアを出しあったり、創造的な学びを実践したりするための施設です。グループ学習やプレゼンテーション練習、情報収集・発信などさまざまな用途に使用することができ、学生の自発的な学習スペースとして活用されています。



先輩と後輩がつながり
一緒に学ぶ、成長する

LA

ラーニング
アシスタント制度

Learning Assistant とは？

学習支援専門教員による指導の下、学生に対してレポート作成やパソコン操作に関するサポート、コモンズ施設・備品等の管理を行う学生スタッフのことです。学生の目線から利用者のニーズに応え、より良い学習環境を提供できるよう支援を行っています。

LAの業務中には、よく「グループ学習ルーム」の貸し出しが行われています。コモンズセントラル1階にある個室空間で、課題を終わらせたり、新規の活動拠点にしたりと、様々な用途で用いられています。LAではその貸し出しを行っており、予約方法についても私達がお案内しています。是非分からないことがあれば気軽に質問や相談にしてください。

宿利 航太郎さん(総合心理学部 総合心理学科 3年生)



2年生以上の多様な学科の学生が学習支援を行っています。レポート作成やICTサポートの他にも、課題についてのアドバイスも行っています。同じ学生という立場だからこそ、学習者の視点に立って共感的で実践的なサポートを行っています。

久保田 葉月さん(工学部 情報工学科 4年生)



変化を楽しむ人であれ

京都橘大学

〒607-8175 京都市山科区大宅山田町 34
TEL.075-574-4324 (教務課 直通)
E-mail aca@tachibana-u.ac.jp

2025.3